

国語

たしかめよう

しんだんもんだい①



1 どんなときに国語辞典を使うでしょう。三つに○をつけましょう。

- ① () 言葉のつかい方を調べるとき
- ② () 漢字の画数をしらべるとき
- ③ () 言葉の意味を調べるとき
- ④ () 漢字での書きあらわし方を調べるとき
- ⑤ () 漢字のでき方を調べるとき

2 次の——線部の言葉を、国語辞典の見出し語の形に書きなおしましょう。

① 朝ごはんをしっかりと食べた。

() ()

② しいんとだままって、目とじました。

() ()

③ お兄さんと遊んで、とても楽しかった。

() ()

3 次の漢字の音と訓を書きましよう。

④ 外

(音) ガイ () (訓) そと ()

① 山

(音) () (訓) () ()

② 火

(音) () (訓) () ()

③ 朝

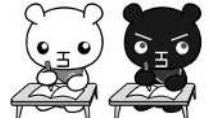
(音) () (訓) () ()

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語

たしかめよう

しんだんもんだい①



1 どんなときに国語辞典を使うでしょう三つに○をつけましょう。

- ① (○) 言葉のつかい方を調べるとき
- ② () 漢字の画数をしらべるとき
- ③ (○) 言葉の意味を調べるとき
- ④ (○) 漢字での書きあらわしを調べるとき
- ⑤ () 漢字のでき方を調べるとき

2 次の——線の言葉を、国語辞典の見出し語の形に書きなおしましょう。

① 朝ごはんをしっかりと食べた。

() **食べる** ()

② しいんとだままって、目をどじました。

() **どじる** ()

③ お兄さんと遊んで、とても楽しかった。

() **楽しい** ()

3 次の漢字の音と訓を書きましよう。

④ 外

(音 **ガイ**) (訓 **そと**)

① 山

(音 **サン**) (訓 **やま**)

② 火

(音 **カ**) (訓 **ひ**)

③ 朝

(音 **チョウ**) (訓 **あさ**)

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語

たしかめよう

しんだんもんだい②



1 次の俳句が表しているきせつを書きましよう。

① 閑か^{しず}さや 岩にしみ入る 蝉^{せみ}の声 松尾芭蕉^{まつおばしやう}

きせつ ()

② 夏草や 一足^(ず)づつに 海見ゆる

小林一茶^{こばやしいつさ}

きせつ ()

③ 雪とけて 村いっぱいの 子どもかな

小林一茶^{こばやしいつさ}

きせつ ()

④ 古池や 蛙^{かわず}飛びこむ 水の音 松尾芭蕉^{まつおばしやう}

きせつ ()

⑤ 菜の花や 月は東に 日は西に 与謝蕪村^{よさぶそん}

きせつ ()

2 次の文の [] に当てはまる言葉をえらび、書きましよう。

① 「この・その・あの」や「これ・それ・あれ」などは、何かをさししめす言葉です。このような言葉をまとめて [] といいます。

② せり・なずな・すずしろなど、言葉を並べる場合に [] をつかいます。

③ 「母は、出かけている。」のように、文の終わりに、 [] は、文の中の切れ目にうち、文を読みやすくしています。

④ [] は、左から右に書きます。読点として、多くの場合は、コンマ(、)を使い、また「二つ」や「三日目」などをのぞき、算用数字を使います。

⑤ せつめいをおぎなう場合や、言い切りにせず、とちゆうで止める場合には [] を使います。

横書き ・ こそあど言葉 ・ 中点
句点 ・ ダッシュ ・ 読点

組	番 名前	かかった時間	とけた数 /10
---	------	--------	-------------

国語

たしかめよう

しんだんもんだい②



① 次の俳句が表しているきせつを書きましよう。

① 閑かさや 岩にしみ入る 蝉せみの声
松尾芭蕉まつおばしやう

きせつ (夏)

② 夏山や 一足(ず)づつに 海見ゆる

小林一茶こばやしいつさ

きせつ (夏)

③ 雪とけて 村いっぱいの 子どもかな

小林一茶こばやしいつさ

きせつ (春)

④ 古池や 蛙かわず飛びこむ 水の音
松尾芭蕉まつおばしやう

きせつ (春)

⑤ 菜の花や 月は東に 日は西に
与謝蕪村よさぶそん

きせつ (春)

② 次の文の [] に当てはまる言葉をえらび、書きましよう。

① 「この・その・あの」や「これ・それ・あれ」などは、何かをさししめす言葉です。このよう
な言葉をまとめて **こそあど言葉** といいます。

② せり・なずな・すずしろなど、言葉を並べる場合
に **中点** をつかいます。

③ 「母は、出かけている。」のように
文の終わりに、 **読点** は、文の中の切れ目に
うち、文を読みやすくしています。

④ **横書き** は、左から右に書きます。読点
として、多くの場合は、コンマ(,)を使い、また「二つ」
や「三日目」などをのぞき、算用数字を使います。

⑤ せつめいをおぎなう場合や、言い切りにせず、と
ちゅうで止める場合には **ダッシュ** を使います。

横書き・こそあど言葉・中点
句点・ダッシュ・読点

組	番	名前	かかった時間	とけた数 /10
---	---	----	--------	-------------